

教育学部の成績開示方針について

【ご意見・ご要望】(投稿日:2026年2月23日)

私(工学部生)は教育学部科目の聴講を行い、成績表(教育学部出力)には素点ではなく評語(アルファベット)が表示されていました。一方で、同様に教育学部科目を聴講した文学部生の知人の成績表(同上)には素点が表示されていました。このように異なる取り扱いとなっている理由を教育学部教職教務掛に問い合わせたところ、「所属学部の方針に沿っています」との返答をいただきました。すなわち、評語を以て成績を開示する工学部に所属する学生には評語で、素点を以て開示する文学部に所属する学生には素点で、それぞれ開示しているということです。しかしながら、同じ科目を受講しているにもかかわらず、学生の所属学部によって成績開示方法(評語か素点か)を変えるのは、整合性を欠く対応であると言わざるをえません。また、以前にも複数の学部の科目を聴講しましたが、私の知る限り、このような取扱いは教育学部以外ではなされていませんでした。教育学部は教職科目の関係で他学部からの聴講も多いと思われ、成績開示方法(評語か素点か)は多くの学生に影響を及ぼすことと存じます。

学生の所属学部によらず成績開示方法(評語か素点か)を統一することを今一度ご検討いただきたいです。

【回答】(回答日:2026年3月24日)

(回答部署:学務部教務企画課)

成績開示における表記(素点又は評語)に関して貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。

本学の成績表記は、各学部の方針に基づき成績評価の開示形式が異なっております。このため、同一科目を受講した場合であっても、学生の所属学部によって成績表記が異なる運用となっております。

成績表記の在り方は、ご指摘のような情報の詳細度に関する公平性の側面がある一方で、当該学生が所属する学部等において卒業判定や成績証明書の発行を受けの際の一貫性にも関わる事項です。そのため、その運用については、学内制度への影響を多角的に考慮した上での慎重な判断を要するものと認識しております。

本件は全学的な制度に関わる事案であるため、いただいたご意見は今後の教務運営における貴重な参照視点として、全学の教務担当部局間において共有させていただきます。